

交通事故死ゼロ社会をめざして！

西条警察署・西条西警察署管内の交通事故死者数が大幅に減少！

平成19年11月11日現在で
事故死者数：1人
前年同期比：8人減
昭和32年以降最少！

西条警察署と西条西警察署管内における交通事故の死者数が合計10人未満であった年は、資料として判明している昭和32（1957）年以降で見ると昭和32年・7人、昭和34年・8人、平成18年・9人の3年でした。

平成19年は交通事故の発生件数・死者数・負傷者数ともに昨年同期に比べて減少しています。しかし、交通事故は一瞬の不注意で起こります。年末は夕暮れが早い上、道路凍結などによる事故発生が心配されます。

これから年末に向け、気を緩めずに事故防止に努めましょう。

交通死亡事故抑止“アンダー100”作戦

愛媛県では、交通死亡事故抑止対策を強化することによって県内の交通事故による年間死者数を昭和30（1955）年の94人以来、52年振りに100人未満に抑止することをめざしています。

夕暮れ時のライト点灯・前照灯のこまめな切り替えキャンペーン

冬場は暗くなるのが早くなります。12月は16時30分を目安にヘッドライトを点灯しましょう。日中でも雨天・霧などの悪天候やトンネル内を走行する場合、また、薄暗く感じたらヘッドライトを点灯しましょう。ヘッドライトは上向きが原則です。

対向車（自転車を含む）がある場合には、下向きにして眩惑を防止し、点灯したライトを上向き・下向きへと小まめに切り替えて、歩行者などを早めに発見しましょう。

西条市高齢者交通安全アドバイザー事業

市では、市内の70歳から89歳までの高齢者宅をアドバイザーが訪問し、交通安全の資料や反射材の配布、アンケート、交通についての相談・回答業務を行っています。

横断旗・旗入缶設置事業

市では、歩行者が安全に横断歩道を渡れるよう、交差点などに横断旗を設置しています。積極的な活用をお願いします。

平成19年交通事故発生状況（平成19年11月11日現在）

管内	事故発生件数	死者数	負傷者数
西条警察署	379件 （-28件）	0人 （-2人）	461人 （-43人）
西条西警察署	318件 （-54件）	1人 （-6人）	423人 （-80人）
合計	697件 （-82件）	1人 （-8人）	884人 （-123人）

※（ ）内は前年同日との比較。

気をつけよう！ 市内での交通事故の特徴

（平成19年11月11日現在）

- ★交差点付近での追突事故が多い（248件・全体の35%）
- ★高齢者が関係する事故が多い（263件、全体の37%）
- ★高齢ドライバーの事故が増加（214件、前年比+9件）
- ★小中高生の事故が増加（44件、前年比+14件）
- ★自動二輪の事故が多発（66件、前年比+25件）

原因別で見ると…

- ★前方不注視による事故（207件、全体の29%）
- ★安全不確認による事故（140件、全体の20%）

家庭で、地域で、職場で、学校で、お互いが「交通事故を起こさない」「交通事故に遭わない」よう取り組み、『交通事故死ゼロ社会』の実現をめざしましょう！

火災のない明るい新年を迎えましょう

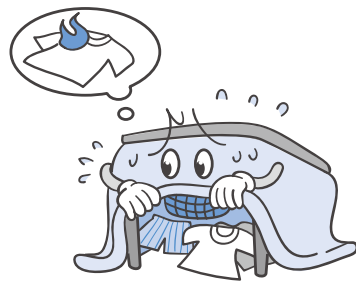
12月20日(木)～1月10日(木) 年末年始特別火災予防運動

市では、12月20日(木)から1月10日(木)まで「年末年始特別火災予防運動」を行い、明るい新年を迎えられるよう、広報や警戒巡視などで火災予防を呼びかけています。この時期は空気が乾燥し、火災の発生しやすい気象状態が続きます。また、年末年始の忙しさに気をとられ、火に対する注意がおろそかになりがちなことも、この時期に火災が多発する原因となっています。

市民の皆さん一人ひとりが「火の用心」を心がけ、地域の安心・安全を確保するよう心がけましょう。

使用期間の長い家電製品をご使用の皆さまへ 長年ご使用の家電製品の自主点検についてのお願い

使用期間の長い家電製品による火災事故が発生しています。テレビ・エアコン・扇風機など、使用期間の長い家電製品を使用するときは、必ず点検を実施しましょう。



「火は見てる
あなたが離れる その時を」

平成19年度全国防火統一標語